

令和4年度 高冷地水稻生育速報(第4報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月15日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色				葉齢	幼穂	
						葉色板		SPAD値				
たかやまもち	本年	77.8	(114%)	495	(101%)	4.9	(+0.7)	39.0	(+0.6)	12.5	(+1.4)	10~15cm
	前年	70.1		520		5.0		44.7		11.6		
	平年	68.1		490		4.2		38.4		11.1		
あきたこまち	本年	75.3	(111%)	491	(100%)	4.8	(-)	42.5	(+3.6)	12.6	(+1.4)	10~15cm
	前年	70.2		555		5.0		45.3		12.2		
	平年	67.9		492		—		38.9		11.2		
ひだほまれ	本年	80.2	(113%)	431	(106%)	4.8	(+1.4)	41.4	(+7.2)	12.7	(+1.2)	5~7cm
	前年	76.5		395		4.7		43.4		11.5		
	平年	71.0		407		3.4		34.2		11.5		
ひとめぼれ	本年	75.1	(111%)	586	(94%)	4.8	(+1.2)	41.8	(+7.7)	12.2	(+1.4)	2~3cm
	前年	68.9		633		4.7		40.8		11.3		
	平年	67.7		626		3.6		34.1		10.8		
コシヒカリ	本年	79.4	(112%)	582	(98%)	4.3	(+0.7)	40.5	(+6.5)	12.1	(+1.2)	1cm
	前年	76.0		619		4.7		42.4		11.0		
	平年	71.2		593		3.6		34.0		10.9		

栽培条件: 移植5月16日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a 穂肥N=0.3kg/a

平年値: 過去5年間(H29年~R3年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月下旬の平均気温は平年より高く、日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

生育は、平年と比較し、草丈やや高く、茎数は平年並みである。葉色値は平年よりやや高く、葉齢は平年より大きい。「コシヒカリ」は7/15時点で幼穂1cm程度となり、出穂は8/2~8/4頃となる見込みである。平年の出穂期は8/3で、今年度の生育は概ね平年並みになると考えられる。

3) 病害虫等の発生状況

イネドロオイムシの発生がみられる。

4) 今後の管理

穂肥施用は出穂の18日前の幼穂1cm時(たかやまもちは21日前)を目安に行う。当所においては下記のように穂肥施用を行った。

- 「たかやまもち」 7/4
- 「あきたこまち」 7/8
- 「ひだほまれ」 7/11
- 「ひとめぼれ」 7/13
- 「コシヒカリ」 7/15

令和4年(2022年)の気象図

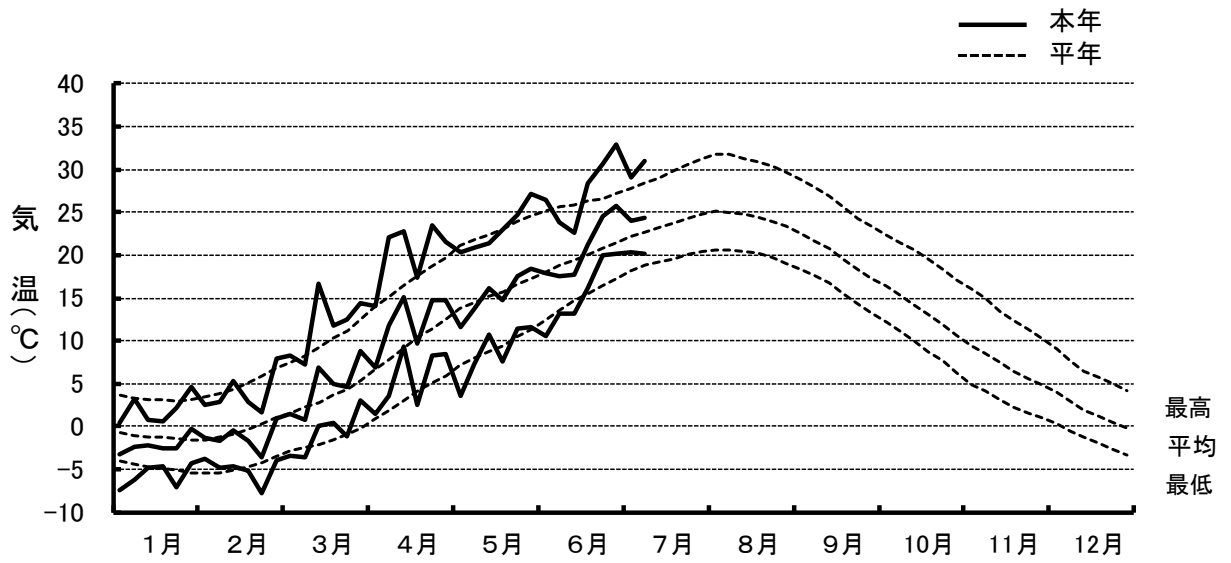


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

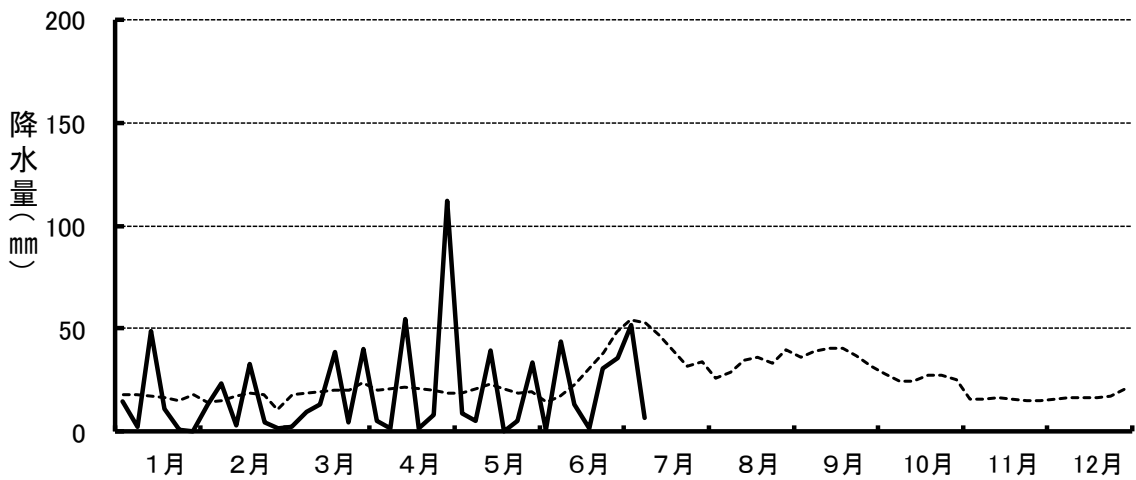


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

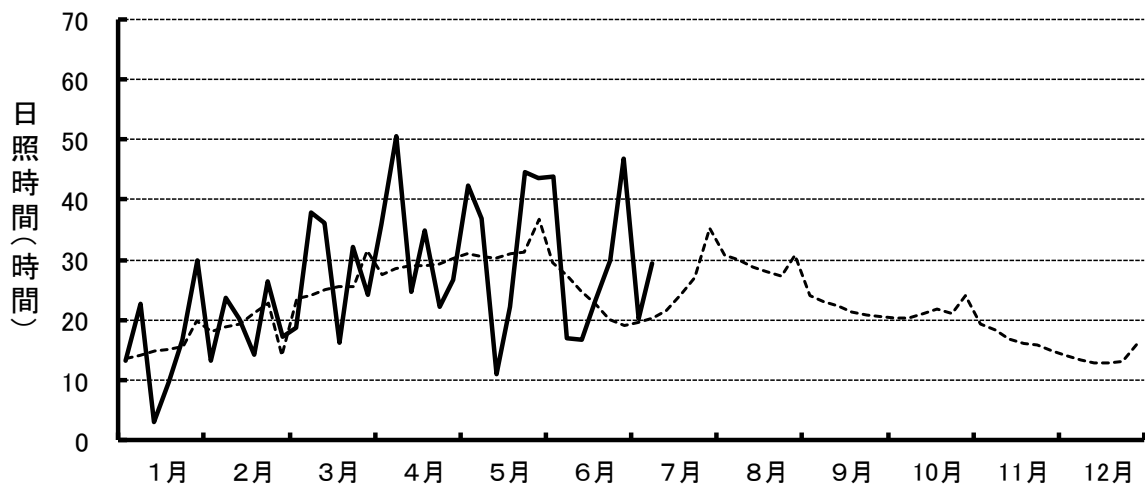


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)